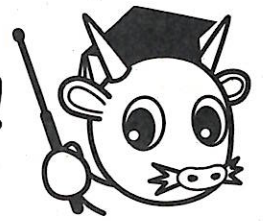


3つのステップで短歌を詠んでみよう！



短歌ってどんなもの？

心^{こころ}を動^{うご}かされる景色^{けしき}や出来事^{できごと}などを、五・七・五・七・七の三十一文字^{ご しち ご しち しち さんじゅういちもじ}で言い表^いした詩^しです。

【例：声^{こえ}に出^だして読^よんでみよう】

「寒いね」と^{さむいね} 5文字 話^{はな}しかければ 7文字 「寒いね」と^{さむいね} 5文字 答^{こた}える人^{ひと}の 7文字 いるあたたかさ^{いるあたたかさ} 7文字 (俵^{たわら} 万智^{まち})

STEP 1 テーマを決めよう

どんなこと^{たんなか}を短歌^{かんが}にしたいか考えてみよう。
自分^{じぶん}の好き^すなことや、楽し^{たの}かったこと、感動^{かんだう}したことなど、自由^{じゆう}に選^{えら}んでみてね。

テーマ^{れい}の例

- | | | | |
|---|--|---|---|
| がっこう
・学校 ^{がっこう} でのできごと | かぞく ともだち
・家族 ^{かぞく} 、友達 ^{ともだち} | す
・好き ^す なスポーツ | どうぶつしよくぶつ
・動物 ^{どうぶつ} 、植物 ^{しよくぶつ} |
| い ばしょ
・行 ^い ってみたい場所 ^{ばしょ} | なつやす おも で
・夏休 ^{なつやす} みの思 ^{おも} い出 ^で | しょうらい ゆめ
・将来 ^{しょうらい} の夢 ^{ゆめ} | けしき ふうけい
・景色 ^{けしき} 、風景 ^{ふうけい} |

STEP 2 つながりのある言葉を書き出そう

決^きめたテーマ^{おも}から思^{ことば}いつく言葉^かを、た^かくさん書^かいてみよう。
このとき^{もじ}は、文字^{かず}の数は気^きにしない^{あたま}で、頭^{ことば}にうか^かんだ言葉^かをた^かくさん書^かこう。

STEP 3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2で集^{あつ}めた言葉^{ことば}を組^くみ合^あわせて、「五・七・五・七・七」に当^{ご しち ご しち しち あ}てはめ^あてみよう。
でき上^あがったら、声^{こえ}に出^だして読^よんでみる^よといいよ。

※字余^{じあま}り（文字数^{もじすう}が多いこと）・字足^{おお}らず（文字数^{もじすう}が少ないこと）でも大丈夫^{じた}！
つた^{ひょうげん} 伝えたい^{ことば}ことが表現^{ため}できる^{ため}ように、いろい^{ことば}ろな言葉^{ため}を試^{ため}してみ^{ため}てね。

上級者のあなたへ いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう！

- | | |
|---|--|
| ① 比 ^ひ 喩 ^ゆ （たとえる） | 例 ^{ゆき} ：「雪 ^{ゆき} 」の比 ^ひ 喩 ^ゆ ⇒「白 ^{しろ} い綿 ^{わた} のよう ^{ゆき} な雪 ^{ゆき} 」 |
| ② 体言止 ^{たいげんど} め（最後 ^{さいご} が名詞 ^{めいし} で終 ^お わる） | 例 ^{そら} ：「空 ^{そら} が青 ^{あお} い」の体言止 ^{たいげんど} め⇒「青 ^{あお} い空 ^{そら} 」 |
| ③ 対句 ^{たいく} （同 ^{おな} じ構 ^{こう} 成 ^{せい} の語 ^ご を並 ^{なら} べる） | 例 ^{かわ} ：おじいさん ^{せんたく} は山 ^{やま} へ芝刈 ^{しばか} りに、おばあさん ^{せんたく} は川 ^{かわ} へ洗濯 ^{せんたく} に |
| ④ 擬音語 ^{ぎおんご} ・擬態語 ^{ぎたいご} （音 ^{おと} や様 ^{よう} 子 ^す を表 ^{あらわ} す） | 例 ^{わくわく} ：わくわく ^{わくわく} 、どんより ^{どんより} 、ガタン ^{ガタン} 、もりもり ^{もりもり} |
| ⑤ 漢字 ^{かんじ} とひらがな ^{ひらがな} の使 ^{つか} い分 ^わ け（あて ^{あて} てひらがな ^{ひらがな} を使 ^{つか} うと、やわらか ^{やわらか} い印象 ^{いんしょう} になるよ） | |